

お客様各位

カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願い申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日

ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

RENESAS TECHNICAL UPDATE

〒100-0004 東京都千代田区大手町 2-6-2 日本ビル
 株式会社 ルネサス テクノロジ
 問合せ窓口 E-mail: csc@renesas.com

製品分類	MPU&MCU	発行番号	TN-SH7-501A/JA	Rev.	第1版
題名	A/D変換器DMA転送時の使用上の注意事項		情報分類	使用上の注意事項	
適用製品	SH7760	対象ロット等	関連資料	SH7760 ハードウェアマニュアル (ADJ-602-328)	
		全ロット			

SH7760 内蔵の A/D 変換器(以下 ADC)に関し、下記注意事項があります。

1. 内容

ADCSRレジスタのDMAC選択ビット(DMASL)を"1"に設定しているとき、ADCレジスタに対してCPUによるリードアクセスを行うと、値が不定になります。従ってADCがDMA転送中は、ADCのレジスタを読出すことができません。ただし書込みは可能です。

また、ADCがDMA転送中に、CPUからMFIのレジスタをリードすると、その値が正しくない場合があります。更にこのときADCのDMA転送値も正しくない値になる場合がございます。

2. 回避方法

次の1)または2)のいずれかの回避方法を適用ください。

- 1) ADCSR.DMASL=1 設定時には、CPUによるADCのレジスタリードを行わないでください。
- 2) ADCSR.DMASL=0の設定でご使用ください。

以上、